

「(仮称)南相馬市子ども・子育て条例」 における原町高等学校生との意見交換会

11月15日(月) 午後
3時40分から、「(仮称)
南相馬市子ども・子育て
条例」における原町高等
学校生との意見交換会を
実施しました。

今回意見を交わした高
校生は、本テーマに興味
のある生徒の皆さんで、
学校内の応募により、自
主的に参加いただきました。
3年生が10名、2年
生が4名の計14名が2
つのグループに分かれ
て、意見を交わしました。

当日の流れ

- 事務局からの説明
 - ・こども家庭課の業務
 - ・市の少子化の現状
 - ・子ども・子育て条例とは？
- 2つのグループで意見交換
- 意見の共有



事務局からの説明



グループ「サーモン」は全員3年生チームで、自分の将来の夢も含め、テーマについて活発に話し合いました。

グループ「サーモン」

(3)についての意見

- 小学生が職業体験できる環境
 - 子どもが活発な地域
 - 若い世代と高齢者がつながる環境
 - 今ある南相馬市を次世代までつなげていく
- など

(1)についての意見

- 伝統芸能の体験ができる
- 子どもの遊び場が充実している
- 相馬野馬追
- 南北の移動をする際、交通の便が良い
- 図書館が充実している
- 姉妹都市との交流

(2)についての意見

- 屋外のゴミ箱の設置
 - 街灯が少ない
 - 高校生が気軽に立ち寄れるファーストフード店
 - 子ども同士が交流できるイベント
 - 自習スペース
- など

テーマ

- (1)南相馬市に住んでよかったこと
- (2)南相馬市にこれがあつたらいいのに
- (3)未来の南相馬市

【出た意見の概要】

など

グループ「親子丼」

グループ「親子丼」は2年生が4名、3年生が3名のチームで、学年に関係なく、自分の意見をしっかりと伝え、円滑な意見交換となりました。



最後は参加者全員で記念撮影！
高校生からは、「こういう意見交換できる機会がもっとあるといいな」という声もあり、とても充実した時間となりました。

(3)についての意見

- 多世代で介護の仕方を学べる機
 - 小さい頃から大人と関わる機会の創出
 - 空の道で高齢者を支援・連携(ドローン)
 - 高校生の時にも様々な体験ができる環境
 - ロボット教育の推進 → まちづくりへの活用
- など

(1)についての意見

- 野馬追 郷土愛
 - 人柄が良い
 - 気候面で住みやすい地域
 - 美味しい飲食店が多い
 - 福祉の面で整っている
- など

(2)についての意見

- 多世代交流の場
 - 地域における自習スペースが少ない
 - 若者が政治に参加できるイベント
 - 高校生による市外・県外への発信
 - ICT教育の強化
 - 性的マイノリティに配慮した多目的トイレ
- など

【出た意見の概要】

など

「（仮称）南相馬市子ども・子育て条例」制定に向けた意見交換会

2021.11.15 原町高校

《テーマ》

- 【1】南相馬市に住んで良かったこと
- 【2】南相馬市にこれがあったらいいのに
- 【3】未来の南相馬市

【1】南相馬市に住んでよかったこと

《グループ「サーモン」》

- ・伝統芸能の体験ができる。
- ・比較的南北の移動の際、交通の便が良いと思う。
- ・各区に遊び場があり、そのような遊び場で他の生徒との交流ができる。
- ・相馬野馬追があることで、“南相馬”を知ってもらえる。
- ・姉妹都市との交流があり、自分の好きなことへ挑戦できる。
- ・図書館が充実している。（DVDの閲覧や自習スペースが多くある等）
- ・「こどものつばさ」で県外での交流ができ、とても良い経験になる。
- ・“ゆめはっと”は県内でも比較的規模が大きく、音楽のみではなく様々なイベントを実施していること。
（子どもにとっても良い経験になると思う）

《グループ「親子丼」》

- ・相馬野馬追など郷土愛があるところ。
- ・（海や山などにも）自転車で移動が可能なおとこ。
- コンパクトシティ
- ・気候面で住みやすいところ。
- ・人柄が良いところ。人を思いやり、つながりがあるところ。
- ・福祉施設が整っているところ。
- ・飲食店が意外と多数あり、美味しい。
- ・小中学校の勉強できる環境が整っているところ。（エアコン、ベッパークン等）

【2】南相馬市にこれがあったらいいのに

《グループ「サーモン」》

- ・高校生が気軽に立ち寄れるファストフード店がほしい。
- ・学校の通学路でも街灯が少ない。（帰り道が暗くて危険）
- ・車用の信号機しかない場所がある。
→歩行者用の信号機を設置してほしい。
- ・テニスコートや図書館などの公共施設の屋外にポイ捨てが多くみられる。
→最低限の場所にはゴミ箱を設置してほしい。
- ・歩行者用の横断歩道で車が止まってくれない。
→歩行者が待っていたら止まってくれたらいいな。
- ・高校生が集まれる場所
（前はジャスマール内にちょっとした遊び場があった）
- ・小高交流センターのような自習スペース
（友達と教え合いながら勉強できるような）
- ・子ども同士が交流できるイベント
→前にあった子ども会のようなイベント

《グループ「親子丼」》

- ・勉強（自習）できる施設等が少ない。
→塾・図書館・カフェなど多様な施設の整備
- ・公共施設・学校等に多目的トイレの設置
→LGBTQ（性的マイノリティ）に配慮した、誰でも気軽に使用できる
- ・ICT教育の強化
→機器やシステムの拡充及び機器を扱える人の整備
- ・若者（大学・高校生向け）が政治に参加できるイベント（研究会）の開催
- ・大人同士や多世代と交流が出来る場所（地区のBBQ等）
（小さい子の遊び場や高齢者のサロンはあるのに…）
- ・高校生自身による市外・県外への情報発信の場
→高校生自身が取り組んでいる活動など子どもに焦点を当てて発信していくことで、子どもがまちづくりに関われる可能性を伝えられる。

「（仮称）南相馬市子ども・子育て条例」制定に向けた意見交換会

2021.11.15 原町高校

【3】未来の南相馬市

«グループ「サーモン」»

- ・学校だけではできないイベント等を市と連携することでできるような環境
- ・震災で避難したときに小学校の近くに消防署があり、実際に見学したり、地元のイベントなどで体験できたりした。
→市の事業などと連携させながら子どもが体験できる機会の場を創出することで、南相馬市で働くことや地域の良さに気付くことができ、地元愛につながる。
- ・今は核家族化が増えてきて、おじいさん、おばあさんが地域で孤立する状況
→地域で若い世代との交流を月1回開催して、お互い顔見知りになり、つながりが増える。
- ・子どもが活発な地域
→子どもが元気だと、地域も元気になる。
- ・自分の子どもが生まれた時に連れていけるような娯楽施設
- ・子どもが職業体験できる環境（施設）
→その施設の中で様々な職業体験ができるイメージ
- ・企業誘致を今後も推進し、様々な企業があることでUターンの増加が期待できる。
- ・今ある南相馬市を次世代までつなげていく環境
→今まで引き継がれている伝統芸能や豊かな自然など

«グループ「親子丼」»

～こうなっていたら帰って来たい。～

- ・福祉が整っている。
→介護士不足の解消（介護士の人的確保）
- ・介護士（資格所持者）以外にも車いすの操作方法や資格取得に向けた講座（若年層も含めて）
- ・ロボット産業の推進（ドローン等）
→ロボット教育の推進やロボットでまちづくりができるようにロボットを活用していける環境整備
- ・空の道（ドローン等）の推進
→運転できない、自分で買い物できない高齢者の方々向けに物資を届ける仕組みづくりだけでなく、家族・親族間においてもつながりを作れるように事業所等の協力・連携が取れるようなまちづくりの推進
- ・小さいお子さんを育てるお母さんが気軽に集まれる・参加しやすいコミュニティの生成
→子どもを遊ばせながら、お母さん同士の交流もでき、在中のカウンセラー設置による相談できる環境
- ・小さい頃から大人と関われる機会の創出
- ・小学校でもまちづくりに関係している大人との交流
→子どもの時から南相馬市のまちづくりに関わることで、意識の醸成にもつながる
- ・高校生の時期に様々な体験ができる場・環境
→中学生の時期に職業体験を学校教育の一環で体験するが、高校時代にはなく、ちょうど自分で物事を考えられる時期に大人と関わる時間が少ない。
行政のまちづくりなどにもっと高校生などを巻き込んで良いと思う。